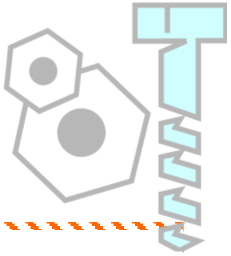
# 業種別部会長シンポジューム

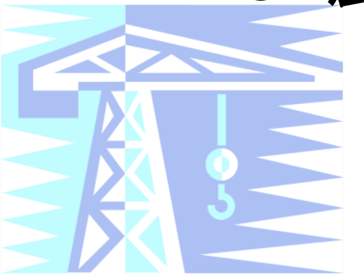


## 機械金属部会
## 「2014年上期の回顧と下期の展望」

**業種・分野別分類**

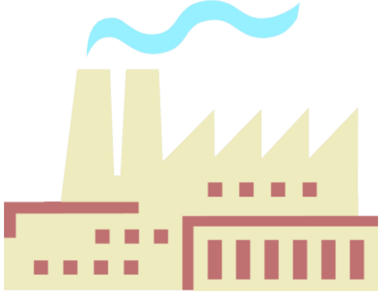
1. 鉄鋼（鋼板）
2. 電力及び社会インフラ
3. プラント機器
4. 建設機械
5. 農業機械
6. 各種切削工具他
7. 機械部品・計測機器
8. 潤滑油

機械金属部会　全体



2014年　8月21日

伯国三菱重工業　相原



# 1.鉄鋼（鋼板）

## 2014年上期の回顧

＜概況＞
W杯の影響で、自動車、家電、農業器具などの鋼材需要が一時的に低迷、一方で輸入材は増加。第1Qは比較的好調だった。第2Qからﾏｰｹｯﾄが停滞感を見せ始めた。
国内粗鋼生産量：
1,670万ton(前年比 ▲1.5 %)
鋼材見掛消費量:
1,270万ton (前年比 ▲ 2.3%)
鋼材輸出：
392万ton(前年比▲11.5%)
ﾌﾞﾗｼﾞﾙ国内向け供給が優先され、輸出数量は減少傾向。第2Q以降は増加傾向。
鋼材輸入；
200万ton(前年比+18%）
とくに建材と自動車用のﾒｯｷ材が伸びた。
輸入国別では、中国が67.6%と断トツ。

## 2014年下期の展望

＜概況＞
ﾌﾞﾗｼﾞﾙの自動車産業、建産機業界、建築業界ともに、今年は非常に厳しいとの見方が強い。
2014年のGDP成長率は、前年比で+0.86%と予想。ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ、中国の景気減速が輸出下振れの要因。大統領選後も、緊縮的な経済政策が予想され、前年比ほぼ横ばいと予想。
国内粗鋼生産2014年の予測
3,450万ton ：(前年比 +0.95%)
鋼材見掛消費量2014年の予測
2,670万ton：(前年比 +1.14%）
鋼材輸出：
830万ton（前年比 +1.14% ）
鋼材輸入；
360万ton（▲2.5%）

# 2.電力　及び　社会インフラ

| 2014年上期の回顧 | 2014年下期の展望 |
|---|---|
| ＜概況＞<br>ﾍﾟﾄﾛﾌﾞﾗｽの石油ｶﾞｽ生産量は増加するも業績は低迷。自動車の生産・販売台数は下降。W杯の経済へのﾌﾟﾗｽ効果は限定的で鉄鋼製品・電力の消費は横這いで、ﾌﾞﾗｼﾞﾙ経済全体が引続き低迷。 大型投資案件は軒並み延期され、受注実績も低迷。<br>水不足による電力危機にも関わらず<br>ガス火力はガス供給問題とﾍﾟﾄﾛﾌﾞﾗｽの資金不足のために入札は遅れ気味なるも、ｺﾝﾌﾟﾚｯｻ関連では、数件の受注あった。<br>造船では、2015年から引渡し開始予定。<br>環境関連設備、汚染土壌の洗浄も計画が散見されたが、進展せず。<br>航空機だけが、5~6%の拡大基調。関連設備の受注あり。<br>交通ｲﾝﾌﾗでは、地下鉄案件を受注したが、高速鉄道は依然、不透明。 | ＜概況＞<br>ﾏｲﾅｽ要因として、①大統領選を控え、ﾃﾞﾓと政治不安定・空白期間　②電気代の値上げでｲﾝﾌﾗ加速の懸念　③ｲﾝﾌﾚ不満の解消の人気取り政策が優先され、公共投資は期待薄。金利高め誘導で経済活動は低調続く。④中国ｺﾓﾃﾞｨﾃｨ需要減で輸出減　⑤ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝの経済危機<br>ﾌﾟﾗｽ要因として、①ｶﾞｿﾘﾝ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ価格の値上げ、ﾌﾟﾚｻﾙ開発の加速で、ﾍﾟﾄﾛﾌﾞﾗｽ案件の活性化を期待　②ﾚｱﾙ安による貿易収支の改善で、農業・基礎産業関連機器（除く鉄鉱石）が好調　③電気代の値上げによる電気事業の活性化　④自動車生産基調の回復<br>造船・舶用機械、製鉄関連ともに、低迷基調。<br>分散型発電設備への投資拡大に期待。<br>自動車関連では、塗装組立ﾛﾎﾞｯﾄの商談の継続を見込む。 |

# 3.プラント機器（紙パルプ･石油/ガス･石油化学等）

## 2014年上期の回顧

**＜概況＞**

**紙パルプ業界**

**業界大手のKlabin社から新設製紙ﾌﾟﾗﾝﾄ設備を受注した。業界各社は業績好調で設備投資意欲有り。**

**石油･ガス**

**ﾍﾟﾄﾛﾌﾞﾗｽの業績不振は改善されず、新規投資は実質凍結状態。数少ないFPSOの化工機案件にﾒｰｶｰ競争激化。**

**石油化学**

**米国ｼｪｰﾙｶﾞｽの影響で、割高な天然ｶﾞｽが、ﾌﾞﾗｼﾞﾙへの投資を敬遠させ、新規投資計画は凍結状態。改造･老朽化対策工事に専念**

**電力（火力）**

**水不足もあり電源の多様化ﾆｰｽﾞ大。ｶﾞｽ焚大型火力（GTCC）は苦戦するも、ﾊﾞｲｵﾏｽ焚き火力が予想より早く具体化してきた。**

## 2014年下期の展望

**＜概況＞**

**紙パルプ業界**

**製紙各社で具体的な設備投資計画が進んでおり、早ければ本年中にも大型投資が期待できる。**

**石油･ガス**

**石油開発関連の上流側を除き、引き続きﾍﾟﾄﾛﾌﾞﾗｽによる新規投資は低迷と予想。**

**石油化学**

**引続き新規投資活動は鈍化のまま。改造･拡大工事に対応して中小型GTを製品ﾗｲﾝｱｯﾌﾟに加えて受注を目指す。**

**電力（火力）**

**水ｶﾞｽ供給事情から単発的ではあるが、今期のｵｰｸｼｮﾝにてｶﾞｽ焚き大型火力案件が有望視されている。ﾊﾞｲｵﾏｽ焚き火力も後続案件が有り、期待できる。**

# 4.建設機械

## 2014年上期の回顧

＜概況＞
総需要台数　（小形建機除く）
2014年上期；8,994台(前年比+32%)
ｲﾝﾌﾗ関連による需要はあったが、
農業開発省（MDA）向ﾃﾝﾀﾞｰ分の増
（3,095台）を除くと対前年比で▲5%
ﾌﾞﾗｼﾞﾙ経済の停滞や大統領選挙を
見据えた買控え、W杯開催に起因
する伸悩み等が主要な要因。

小形建機
小形バックホーは、2014年の1~6月
の輸入統計全体では、前年比153%
と伸長しており、Y社の販売も、台数
ﾍﾞｰｽでほぼ倍増した。

## 2014年下期の展望

＜概況＞
総需要台数　（小形建機除く）
2013年実績: 15,616台
2014年予測: 15,200台（▲3%）
住宅や農林業向け等、一部の需要は
堅調に推移すると見込まれるが、経済の
停滞や金利上昇、大統領選挙を意識した
模様眺め・買控え等、全体的に厳しい
環境が続くと予想。

小形建機
労働賃金の上昇により、機械化ﾆｰｽﾞが
進み、小形建機の増加ﾄﾚﾝﾄﾞは当分継続
すると推測している。

# 5.農業機械(小型＆舶用ディーゼルエンジン含む)

| 2014年の上期の回顧 | 2014年下期の展望 |
|---|---|

## 2014年の上期の回顧

＜概況＞

<u>エンジンビジネス</u>

小形ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ;2014年上期の販売（発電機セット含）は低調で、前年同期比で台数ﾍﾞｰｽ▲12%、金額ﾍﾞｰｽで▲9%。
舶用ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ;PBの海上油田開発に関わる船舶用案件は停滞気味。
ｱﾏｿﾞﾝ川流域の船舶用ｴﾝｼﾞﾝは堅調推移。
草刈り機やｺｰﾋｰ豆の収穫用機器のｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝは今年に入り、販売台数が低下。

<u>トラクタービジネス</u>

昨年の販売が前年比+17%と好調であった反動、かつ2014年は農作物が豊作だった反面、市場価格が下落し、販売が低迷。
業界全体で前年比▲18%。Y社の販売も前年比▲11%。

## 2014年下期の展望

＜概況＞

<u>エンジンビジネス</u>

小型ｴﾝｼﾞﾝ販売、農作業機械向けは前年比ほぼ横ばいを予想。ﾗｲﾄﾀﾜｰ、発電機など建設用の需要が大きく減少しており、年間では前年比▲10%と予想。20馬力以下のﾌﾞﾗｼﾞﾙ製単気筒ｴﾝｼﾞﾝの販売は地方への電化による市場縮小に加えて、中国製品の流入により、今後も低迷が続くと予想。
舶用ｴﾝｼﾞﾝ;好調なｱﾏｿﾞﾝ流域に期待。
ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝは、OEM先の情報によると、ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝの状況やﾊﾞﾌﾞﾙ崩壊など悲観的。
ただ、電気代値上げにより、発電ｾｯﾄの需要が見込まれる。

<u>トラクタービジネス</u>

下期は季節要因の販売増も期待されるが、年間では前年比▲8~10%と予測。

# 6.各種切削工具＆射出成型機他

## 2014年上期の回顧

＜概況＞

<u>切削工具</u>
（O社）前年比+4.2%。但し、5月までの販売は前期並みを維持していたが、6月に入り、W杯の影響と自動車の生産調整が響き大幅ﾀﾞｳﾝしており、通年では減少と予想。　耐摩耗工具は受注なし。昨年好調の反動とW杯が終わり棒鋼需要が減少したことが影響。鉱山工具は前年比+50%。為替が安定し、鉱山向け工具の販売も安定してきた。（K社）自動車減産が大きく響き、前年比▲12%。

<u>ねじ切り工具</u>
国内・輸出全体で前年比▲7%。国内が低迷。航空機、ﾅｯﾄﾒｰｶｰ向けが好調を維持。ｱﾒﾘｶ市場向けが好転し輸出は+6%。

<u>射出成型機</u>
自動車業の停滞の中、日系ﾒｰｶｰから受注。品質よりも価格志向の市場に苦戦。

## 2014年下期の展望

＜概況＞

<u>切削工具</u>
（O社）自動車の販売は前年並みでも、輸出がｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ経済の影響で減少と予想生産が横這いのため期待薄。耐摩耗工具は建設用丸棒鋼の需要は今後も期待。建設工具;建設関連は引続き好調を期待。鉱山向けは為替の影響で厳しい。（K社）前年比1~2割減と予想。

<u>ねじ切り工具</u>
W杯、大統領選は市場にﾏｲﾅｽと予想。2014年も厳しい。ﾚｱﾙ安も消費減に動く。

<u>射出成型機</u>
燃費向上目指し、部品の軽量化のためにﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製品が今後も増加すると予想。短期的には停滞するも長期的には十分商機あり、拡販を目指す。

# 7.機械部品・測定機器

## 2014年上期の回顧

＜概況＞

<u>チェーン</u>

鉄鋼関連はﾒﾝﾃﾅﾝｽ用取替え需要のみ。製糖業界向けに大口引合あり、下期受注に向けてﾌｫﾛｰ中。ﾓﾉﾚｰﾙ17号線向け引合はﾚｰﾙ落下事故でﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ自体が頓挫中。

<u>ホイスト&クレーン、チェーンブロック</u>

高性能を追求するﾒｰｶｰから引合が増加中。

<u>軸受</u>

自動車生産の減産が影響し、自動車・二輪向け需要が急速に悪化。産機OEM向けは、農機向けが政府の投資促進策が奏功し、堅調を維持。鉱山向けはValeの投資が低調のため、依然低迷。産業ﾓｰﾀｰ向けは堅調。

<u>測定・計測機器</u>

測定工具は低調、計測機器は工場の自動化対応で好調。SENAIなど教育機関向販売は好調に推移。前年同期比+6%は実質横這い。

## 2014年下期の展望

＜概況＞

<u>チェーン</u>

食品包装、製糖、森林等特定業界に営業を絞り保守用ﾋﾞｼﾞﾈｽを取り込み、かつ、新規OEMを図る戦略で販売増を狙う。

<u>ホイスト&クレーン、チェーンブロック</u>

経済低迷の中、我慢強く受注を目指す。

<u>軸受</u>

足元で景気減速し続ける中、早期回復は見込めず、自動車向けは、売上低調が続くと予想。 農機と産機ﾓｰﾀｰ向けの堅調維持に期待。周辺国への輸出増に期待。

<u>測定・計測機器</u>

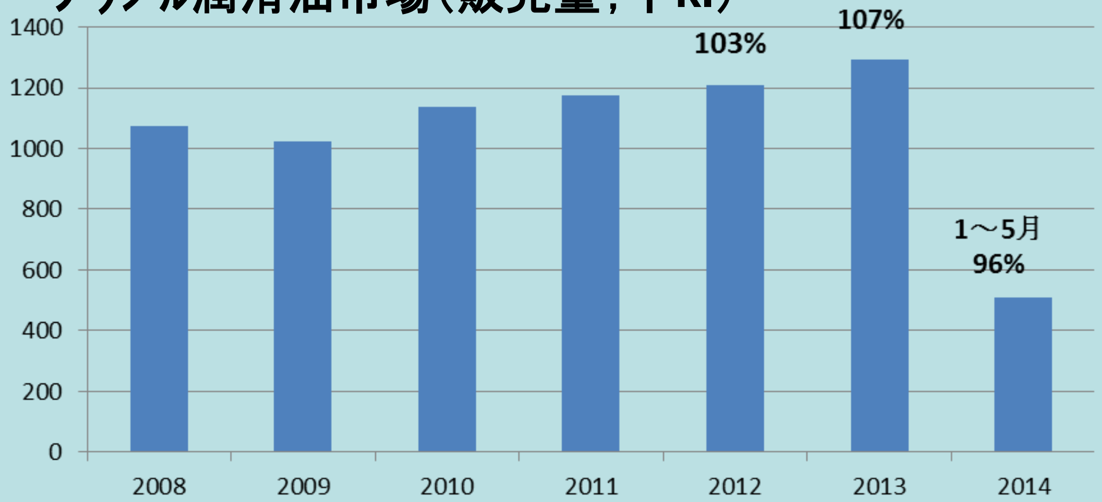
停滞した経済・産業活動の回復を大いに期待するが、不透明。生産能力拡張、自動化ﾗｲﾝの構築などへの投資は継続されると期待。

# 8.潤滑油

## 2014年上期の回顧

＜概況＞
2014年1～5月の潤滑油販売は、前年比▲4%とﾏｲﾅｽを記録。特に自動車分野向けが前年比▲6%と不調。
工業分野は+2%、ｸﾞﾘｰｽは▲10%
景気が低調な中、工業分野は堅調だった。

ﾌﾞﾗｼﾞﾙ潤滑油市場（販売量；千kl）




## 2014年下期の展望

＜概況＞

消費回復の決め手に欠く環境が続く下期も低調な需要が継続すると予想。

# 機械金属部会　全体

## 2014年上期の回顧

W杯の肯定的な影響は、一部のｻｰﾋﾞｽ産業に限定され、営業時間の短縮、操業停止などで経済全体にはﾏｲﾅｽ影響し、全く期待外れの低成長。農業で微増あるものの自動車産業の後退が大きく響きいている。ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ、中国経済の減速も影響。牽引すべきﾍﾟﾄﾛﾌﾞﾗｽは、石油ｶﾞｽ生産量は増加するも、業績が依然低迷、投資が上流部門に限定され、大型ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの遅れが目立った。製鉄は輸入鋼材に押され、収益が出ず、設備投資は依然低調。社会ｲﾝﾌﾗ投資も、政府の発表は派手だったが、海外からの投資が鈍く、動き出したｹｰｽは少なかった。唯一、地下鉄案件の受注が、今後への期待につながった。

## 2014年下期の展望

経済政策の方向性は大統領選挙後となるが、ｲﾝﾌﾚ抑制、財政悪化対策、電力などｴﾈﾙｷﾞｰ関連ｺｽﾄの上昇対策は共通項目であり、次期政権が、経済優先の政策に転じることに、大いに期待。ただ急激な景気回復は見込めない状況。ﾌﾞﾗｼﾞﾙｺｽﾄが大きな理由で製造業のｺｽﾄ競争力は、益々低下。安価な中国品との熾烈な競争に、各社とも、高品質製品に傾注するなど奮闘中。ﾍﾟﾄﾛﾌﾞﾗｽは依然、業績が伸びず、投資意欲は依然低く、関連ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの受注も低迷が続くと予想。農業関連は好調で将来の伸び代も十分。降雨量不足による電力不足、電力料金の高騰を受け、火力発電とﾊﾞｲｵﾏｽ燃料案件に期待。